

非常電源（燃料電池設備）試験結果報告書															
試験実施日 年 月 日															
試験実施者															
住 所															
氏 名															
印															
消 防 用 設 備 等 の 別															
使 用 区 分		消 防 用 設 備 等 の み に 使 用 （ ）													
		そ の 他 と 共 用 （ ）													
燃 料 電 池 設 備 の 様 仕		製 造 者 名 又 は 商 標								定 格 出 力		kW			
		形 式 番 号 ・ 製 造 年								定 格 電 圧		V			
試 験 項 目								種 別 ・ 容 量 等 の 内 容					結 果		
外 観 試 験	設 置 場 所 等	設 置 場 所													
		換 気 設 備								—					
		有 効 な 防 火 区 画								—					
		防 水 措 置								—					
		出 火 防 止 ・ 延 焼 拡 大 防 止								—					
		照 明 設 備 の 有 無								—					
		標 識								—					
	構 造 ・ 性 能								—						
	観 試 験	保 有 距 離 (m)	保 有 距 離 を 確 保 し な け れ ば な ら な い 機 器 等 の 部 分	操 前 作 面	点 検 面	換 気 面	そ の 他 の 面	相 対 する 面				変 電 設 備 、 自 家 発 電 設 備 又 は 蓄 電 池 設 備		建 築 物 等	—
								操 作 面	点 検 面	換 気 面	そ の 他 の 面	キュービクル式	キュービクル式以外		
設 置 方 法		分 岐 方 法								—					
		結 線 ・ 接 続								—					
		表 示								—					
		耐 震 措 置								—					
		燃 料 電 池 ・ 制 御 装 置 ・ 改 質 器								—					
		配 線								—					

備考	1 この用紙の大きさは、日本産業規格A4とすること。 2 選択肢のある欄は、該当する事項を○で囲むこと。 3 使用区分の（ ）書きは、共用している設備名を記入すること。 4 結果の欄には、良否を記入すること。 5 ※印の試験は、「燃料電池設備の基準」（平成18年消防庁告示第8号）に適合しているものとして、総務大臣又は消防庁長官が登録した登録認定機関の認定を受けた旨の表示が付されているものにあつては、当該設備に係る部分について省略することができる。
----	--